公益財団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

第93号

会報

I：Ibaraki
S：Sports
C：Coaches
C：Council

発行　令和８年９月15日

発行人　茨城県スポーツ指導者協議会　会　長　鈴　木　孝　子
事務局　〒306-0204　古河市下大野 1463-4
TEL・FAX 0280-92-4555　事務局長　鈴　木　義　夫
会員数　2,747名（R8.9.15現在）

公益財団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と活動の推進を

連帯感を深め組織的活動を

部活動の「展開」期を迎えて

―地域で育むスポーツの未来と指導者の役割―

茨城県スポーツ指導者協議会　会長　鈴木孝子

会員の皆さまにおかれましては、日頃より本県のスポーツ振興ならびに青少年育成にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

これまで議論を重ねてきた「部活動の地域移行」は、今や具体的な「地域展開」のフェーズへと進みました。茨城県内におきましても、地域スポーツクラブや学校との連携・協働のもと、より多様で質の高いスポーツ環境づくりに向けた取り組みが着実に広がっております。しかしながら、指導現場における環境の変化や指導体制の構築、ニーズの細分化など、今なお模索が続いていることも事実です。

さらに、日本スポーツ協会（JSPO）においても公認スポーツ指導者制度の見直しや新規定の導入など、時代に合わせた新たな取り組みが示されつつあります。このような変革の時代において最も重要なのは、子どもたちの安心・安全を第一に守りながら、彼らが「自ら考え、挑戦する本物の力」を引き出す指導の実践です。ただ競技技術を教えるにとどまらず、仲間と共に喜怒哀楽を分かち合い、主体的・対話的に学ぶ喜びを伝えることこそ、現代の指導者に求められる本質的な役割ではないでしょうか。

本協議会には、種目の垣根を越えて培ってきた強い絆と、公認スポーツ指導者としての高い専門性・熱意を持った素晴らしいリーダーが揃っております。制度や環境が変わろうとも、私たち自身が変化にしなやかに対応し、研鑽を重ねながら進化し続ける姿勢が大切です。一人で悩むことなく、地域の会員同士で深くコミュニケーションを図り、お互いを高め合えるサポート体制を築いてまいりましょう。

スポーツには、人をつなぎ、地域を元気にし、子どもたちの未来を明るく照らす大きな力があります。老若男女誰もが笑顔でスポーツを楽しめる豊かな茨城の未来を目指し、皆さまと共に楽しく、そして力強く歩みを進めてまいりたいと存じます。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和8年度 研修会開催報告

令和8年7月26日（日）茨城大学水戸キャンパスにて全県研修会が開催されました。（受講者143名）

講師に松井陽子氏（仙台大学准教授）、合田雄治郎氏（合田綜合法律事務所）をお招きし、講演をいただきました。

松井氏には「プレーヤーズセンタードなコーチング～「やる気を引き出すコーチング実践～」、合田氏には「スポーツ指導における法的問題について」と題し講演いただきました。

また、9月6日（日）には水戸市のJAグループ茨城教育センターにて水戸地区研修会が開催されました。（受講者94名）講師に新井正道氏（（一社）日本スポーツコーチング協会）、小山佳恵氏（ForC International LLC 代表）をお招きし、講演をいただきました。

新井氏には「スポーツ現場で関係性を高めるコミュニケーションスキル」、小山氏に「楽しく夢中にさせ、可能性を伸ばす育て方～アメリカ式メンタルコーチング法～」と題し講演いただきました。

いずれの研修会も研究協議などを交え有意義な研修会でした。

茨城県スポーツ指導者協議会
スポーツ指導者功労賞

受賞者紹介

県西支部推薦
桜川市
金子元則

この度、スポーツ指導者功労賞を賜りまして誠にありがとうございます。

ご推薦くださった皆様に心よりお礼申し上げます。また、長きにわたり活動を共にしてくれた皆様に感謝申し上げます。

私は１９７０年に旧真壁町にスキークラブを立上げ組織化いたしました。

スキー人口の拡大と指導者の育成及びスキルアップを両輪に活動を続けてきました。１９９０年全国スキー連盟の指導者資格を取得後は、ジュニアスキーヤーの発掘、育成に力を注ぎウィンタースポーツならではの楽しさを伝えてきました。

多くの仲間とともにコミュニケーションをとりながら、の活動はスキークラブとして町民の要望に応えることができたと思っております。

三町村合併後、桜川市教育委員会スポーツ振興課が主催する「小学生親子スキー教室」は毎年継続して実施され、楽しく人気のある講習会で、私たちスキークラブ会員がコーチ役を担っております。

２０１９年「全国ラジオ体操連盟公認一級指導士」を取得後、「いつでも・だれでも・どこでも」できるラジオ体操の普及に努めています。

最近「じつはすごい！科学的に証明された本当のラジオ体操」という本が刊行されました。著者はテレビ・ラジオでお馴染みの全国ラジオ体操連盟指導員であり理事長の鈴木大輔先生です。納得させられることばかりで「継続は力なり」を感じています。

今後もスキーを通して青少年育成に貢献すると共に、ラジオ体操・みんなの体操を日常に取り入れ、健康増進に役立つことを願い、普及活動を続けたいと思っています。

受賞に際し重ねて御礼申し上げ、これからもご指導賜りますようよろしくお願い致します。

中央支部推薦
大子町
金沢泉

この度令和８年度茨城県スポーツ指導者協議会のスポーツ功労賞を頂きまして、誠にありがとうございました。ご推薦いただいた皆様には心より感謝しております。

私は、ソフトボールを小学生からはじめて中学生で野球に転向しその後、社会人になり野球とソフトボールを続け、その間肩を壊したりしながら59歳でシニアチームに加入し現在も選手兼指導員としてプレーを続けております。

指導員は、２０１７年に取得しチームの仲間と毎週土曜、日曜と練習しながら故障をしないよう個々の長所を伸ばすことを考え、一人一人のレベルを向上する事がチーム全体のレベルアップにつながると思い活動を続けております。

その結果もありチームは２０２３年愛媛県主催の全国ねんりんピックに茨城県代表として出場する事ができ良い経験になりました、これから何歳まで出来るかわかりませんが健康に気をつけ選手兼指導者として、茨城県スポーツ指導者協議会の研修会に参加し継続していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

令和７年度本協議会収支決算報告書　（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）

収入の部

（単位：円）

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1）会員会費	1,800,000	1,582,371	△ 217,629	536 名（新規入会・会員更新）
2）研修会新規会員会費	0	507,000	507,000	169 名（全県・中央地区・県西地区・鹿行地区）
3）補助金	200,000	200,000	0	茨城県スポーツ協会（令和７年度）
4）繰越金	1,337,431	1,337,431	0	前年度繰越金（令和６年度）
5）雑収入	2,569	22,655	20,086	利息・返金・その他等
合計	3,340,000	3,649,457	309,457	

支出の部

（単位：円）

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1）会議費	210,000	120,439	△ 89,561	
総会	50,000	25,640	△ 24,360	切手・事務品・飲料・会場使用・表彰・監査等
常任理事会	30,000	21,008	△ 8,992	切手・事務品・飲料・会場使用等
理事会	30,000	29,685	△ 315	切手・事務品・飲料・会場使用等
総務委員会	20,000	12,497	△ 7,503	切手・事務品・飲料・会場使用・手当等
研修委員会	50,000	24,304	△ 25,696	切手・事務品・飲料・会場使用・手当等
広報委員会	30,000	6,969	△ 23,031	切手・事務品・飲料・会場使用・手当等
2）事務費	1,250,000	972,347	△ 277,653	
旅費	400,000	300,470	△ 99,530	各種会議等
業務委託費	100,000	100,000	0	会長・事務局長・事務局員・会計
消耗品費	180,000	196,115	16,115	事務用品・コピー紙・ラベル・インク・その他等
食料費	30,000	6,000	△ 24,000	事務局・会計監査等
印刷コピー費	130,000	89,100	△ 40,900	封筒印刷・カード印刷・会議資料コピー等
通信費	380,000	266,070	△ 113,930	切手・ゆうパック
備品費	30,000	14,592	△ 15,408	ソフト・メモリー・付属品・ゴム印等
3）事業費	500,000	450,482	△ 49,518	
会報印刷費	400,000	380,600	△ 19,400	会報第 91 号・92 号印刷製本
会報発送費	30,000	12,870	△ 17,130	会報第 91 号・92 号発送
研修会費	50,000	57,012	7,012	研修会（全県研修・地区研修）諸経費
派遣費	20,000	0	△ 20,000	関ブロ会議派遣・全国全体会議派遣
4）支部活動費	1,056,220	1,187,590	131,370	
県北活動費	129,160	132,990	3,830	実務研修・支部会報・会報発送
水戸活動費	113,180	131,930	18,750	救命講習・支部便り・会報発送
中央活動費	206,100	238,050	31,950	中央地区研修・救命講習・支部便り・会報発送
鹿行活動費	160,320	175,090	14,770	鹿行地区研修･講演研修･救命講習･支部便り･会報発送
県南活動費	268,600	302,950	34,350	支部便り・会報発送
県西活動費	178,800	206,580	27,780	県西地区研修・救命講習・支部便り・会報発送
5）負担金	10,000	0	△ 10,000	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6）雑費	170,000	115,230	△ 54,770	手数料・発送作業・その他等
7）予備費	153,780	70,259	△ 83,521	グークルワークスペース導入サポート
合計	3,340,000	2,916,347	△ 423,653	

収入合計	3,340,000	3,649,457
支出合計	3,340,000	2,916,347
差引残金	0	733,110

※上記のとおりご報告いたします。
なお、差引き残金は令和８年度本協議会収支予算書に繰越しいたします。

令和８年４月１日
茨城県スポーツ指導者協議会　会長　鈴　木　孝　子

令和８年度本協議会収支予算書　（令和８年４月１日～令和９年３月 31 日）

収入の部

（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1）会員会費	1,980,000	1,800,000	180,000	660 名（新規入会・会員更新）
2）研修会新規会員会費	540,000	0	540,000	180 名（全県・水戸地区・県南地区・県北地区）
3）補助金	200,000	200,000	0	茨城県スポーツ協会（令和８年度）
4）繰越金	733,110	1,337,431	△604,321	前年度繰越金（令和７年度）
5）雑収入	16,890	2,569	14,321	利息・返金・その他
合計	3,470,000	3,340,000	130,000	

支出の部

（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1）会議費	1,106,650	210,000	896,650	
総会	140,000	50,000	90,000	切手･事務品･会場･表彰･監査･旅費他（日当は除く）
常任理事会	281,200	30,000	251,200	切手・事務品・会場・日当・旅費他
理事会	216,000	30,000	186,000	切手･事務品･会場･日当･旅費他（第１回の日当は除く）
総務委員会	166,000	20,000	146,000	印刷コピー・会場・日当・旅費・手当他
研修委員会	155,220	50,000	105,220	印刷コピー・会場・日当・旅費・手当他
広報委員会	148,230	30,000	118,230	印刷コピー・会場・日当・旅費・手当他
2）事務費	660,000	1,250,000	△590,000	
旅費	0	400,000	△400,000	計画以外の会議等
業務委託費	100,000	100,000	0	会長・事務局長・会計・事務局員
消耗品費	170,000	180,000	△10,000	コピー紙・ラベル・インク・事務用品他
食料費	10,000	30,000	△20,000	会計監査他
印刷コピー費	90,000	130,000	△40,000	封筒印刷・カード印刷・各種資料コピー他
通信費	270,000	380,000	△110,000	切手・ゆうパック
備品費	20,000	30,000	△10,000	ソフト・メモリー・付属品他
3）事業費	432,000	500,000	△68,000	
会報印刷費	352,000	400,000	△48,000	会報第 93 号・94 号印刷製本
会報発送費	30,000	30,000	0	会報第 93 号・94 号県外地区発送
研修会費	40,000	50,000	△10,000	研修会諸経費
派遣費	10,000	20,000	△10,000	全国全体会議派遣・関東ブロック会議派遣
4）支部活動費	1,139,660	1,056,220	83,440	
県北活動費	142,020	129,160	12,860	県北地区研修・実務研修・支部会報・会報発送
水戸活動費	150,980	113,180	37,800	水戸地区研修・救命講習・支部便り・会報発送
中央活動費	207,540	206,100	1,440	実務研修・救命講習・支部便り・会報発送
鹿行活動費	139,420	160,320	△20,900	講演研修・救命講習・支部便り・会報発送
県南活動費	314,000	268,660	45,340	県南地区研修・救命講習・支部便り・会報発送
県西活動費	185,700	178,800	6,900	実務研修・救命講習・支部便り・会報発送
5）負担金	0	0	0	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6）雑費	110,000	170,000	△60,000	振込手数料・発送作業・その他
7）予備費	21,690	153,780	△132,090	
合計	3,470,000	3,340,000	130,000	

収入合計	3,470,000	3,340,000
支出合計	3,470,000	3,340,000
差引残金	0	0

※上記のとおりご提案いたします。

令和８年４月１日
茨城県スポーツ指導者協議会　会長　鈴　木　孝　子

令和８年度　本協議会事業計画書

１、方　　針

１）地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
２）資格保有者相互の親睦と連携に努めて、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
３）公認スポーツ指導者が、本協議会に会員入会（新規入会・更新入会）の促進を積極的に推進する。

２、目　　標

１）本協議会の組織充実を図る。
①本協議会の組織体制を図り、支部組織の充実に努める。
②市町村及び競技団体との連携・協調に努める。
③有資格者の会員入会（新規入会及び更新入会）の促進を積極的に推進する。
２）更新研修会（全県研修・地区研修）を開催して、資質と指導力の向上を図る。
３）普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
４）公益財団法人茨城県スポーツ協会及び市町村スポーツ協会事業への協力体制を充実させる。
５）競技団体との連携強化を図る。

３、事　　業

１）令和８年度公益財団法人茨城県スポーツ協会事業協力
①令和８年度茨城県スポーツ指導者研修会・全県研修会
(1)期　　日　令和８年７月 26 日（日）
午前９時 30 分受付・午前 10 時開会～
午後２時 50 分閉会
(2)会　　場　水戸市・茨城大学水戸キャンパス人文社会科学部講義棟 10 番教室
(3)参 加 料　会員 1,000 円・未会員 4,000 円
(4)参加定員　200 名
(5)主　　催　(公財)茨城県スポーツ協会･茨城県スポーツ指導者協議会
(6)主　　管　研修委員会
(7)運営委員　14 名（本部役員４名・研修委員 10 名）
(8)講演内容　講演Ⅰ・プレイヤーズセンタードなコーチング
講演Ⅱ・スポーツ指導における法的問題について
(9)講　　師　講演Ⅰ・松井陽子 氏（仙台大学准教授・(公財)全日本スキー連盟公認スキー準指導員）
講演Ⅱ・合田雄治郎 氏（合田総合法律事務所代表弁護士）

②令和８年度茨城県スポーツ指導者研修会・水戸地区研修会
(1)期　　日　令和８年９月６日（日）
午前９時 30 分受付・午前 10 時開会～
午後２時 50 分閉会
(2)会　　場　水戸市・JAグループ茨城教育センター2階大会議室
(3)参 加 料　会員 1,000 円・未会員 4,000 円
(4)参加定員　86 名
(5)主　　催　(公財)茨城県スポーツ協会･茨城県スポーツ指導者協議会
(6)主　　管　水戸支部
(7)運営委員　12 名（本部役員２名・水戸支部役員 10 名）
(8)講演内容　講演Ⅰ・スポーツ現場で関係性を高めるコミュニケーションスキル
講演Ⅱ・楽しく夢中にさせ､可能性を伸ばす育て方
(9)講　　師　講演Ⅰ・新井正道 氏
（一般社団法人日本スポーツコーチング協会）
講演Ⅱ・小山佳恵 氏（For C International,LLC 代表）
・全米女子プロゴルフ協会A級

③令和８年度茨城県スポーツ指導者研修会・県南地区研修会
(1)期　　日　令和８年 11 月８日（日）
午前９時 30 分受付・午前 10 時開会～
午後２時 50 分閉会
(2)会　　場　阿見町・本郷ふれあいセンター１階ホール
(3)参 加 料　会員 1,000 円・未会員 4,000 円
(4)参加定員　200 名
(5)主　　催　(公財)茨城県スポーツ協会･茨城県スポーツ指導者協議会
(6)主　　管　県南支部
(7)運営委員　12 名（本部役員２名・県南支部役員 10 名）
(8)講演内容　講演Ⅰ・自分と選手と向き合うスポーツコミュニケーション
講演Ⅱ・なぜ「もっと右」でうごかないのか
(9)講　　師　講演Ⅰ・岩上紋子 氏
（一般社団法人日本スポーツコーチング協会）
講演Ⅱ・茂木ゆういち 氏
（ホット・コミュニケーションズ代表）

④令和８年度茨城県スポーツ指導者研修会・県北地区研修会
(1)期　　日　令和９年２月７日（日）
午前９時 30 分受付・午前 10 時開会～
午後２時 50 分閉会
(2)会　　場　常陸太田市・交流センターふじ
(3)参 加 料　会員 1,000 円・未会員 4,000 円
(4)参加定員　100 名
(5)主　　催　(公財)茨城県スポーツ協会･茨城県スポーツ指導者協議会
(6)主　　管　県北支部
(7)運営委員　12 名（本部役員２名・県北支部役員 10 名）
(8)講演内容　講演Ⅰ・自分そして選手と向き合うスポーツコミュニケーション
講演Ⅱ・「スポハラ」を知る・学・防ぐ
(9)講　　師　講演Ⅰ・岩上紋子 氏
（一般社団法人日本スポーツコーチング協会）
講演Ⅱ・峰　淳一 氏（茨城県スポーツ少年団常任委員）
・古河市スポーツ少年団本部長

２）令和８年度本協議会会報発行
①会報第 93 号発行
(1)ページ数　10 ページで 3,200 部発行予定
(2)原稿依頼　令和８年７月 15 日～８月 20 日予定
(3)発 行 日　令和８年９月 15 日（10 月 16 日配付予定）
(4)配 付 先　６支部会員・県外会員及び新規入会会員・茨城県スポーツ協会
②会報第 94 号発行
(1)ページ数　10 ページで 3,200 部発行予定
(2)原稿依頼　令和９年１月 15 日～２月 20 日予定
(3)発 行 日　令和９年３月 15 日（３月 19 日配付予定）
(4)配 付 先　６支部会員・県外会員及び新規入会会員・茨城県スポーツ協会

３）令和８年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰推薦者
(1)県北支部・推薦者なし　(5)県南支部・推薦者辞退
(2)水戸支部・推薦者なし　(6)県西支部・金子元則様推薦
(3)中央支部・武石良男様推薦　(7)常任理事会・推薦者なし
(4)鹿行支部・推薦者なし

４）令和８年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦者（功労賞）
(1)県北支部・推薦者なし　(5)県南支部・推薦者辞退
(2)水戸支部・推薦者なし　(6)県西支部・金子元則様推薦
(3)中央支部・金沢泉様推薦　(7)常任理事会・推薦者なし
(4)鹿行支部・推薦者なし

５）令和８年度本協議会各種会議等開催計画
①令和８年度本協議会総会
日　時　令和８年４月 24 日（金）午前９時 30 分開会
会　場　笠間市･友部公民館二階大会議室（３月７日施設利用許可済）
②令和８年度常任理事会（４回計画／年）
第１回常任理事会
日　時　令和８年６月26日(金)午前９時30分開会
会　場　笠間市･友部公民館二階小会議室（３月７日施設利用許可済）
第２回常任理事会
日　時　令和８年10月16日(金)午前９時30分開会
会　場　笠間市・友部公民館二階小会議室
第３回常任理事会
日　時　令和９年２月12日(金)午前９時30分開会
会　場　笠間市･友部公民館二階小会議室
第４回常任理事会
日　時　令和９年３月19日(金)午前９時30分開会
会　場　笠間市･友部公民館二階小会議室
③令和８年度理事会（２回計画／年）
第１回理事会
日　時　令和８年４月 17 日（金）午前９時 30 分開会
会　場　笠間市･友部公民館二階小会議室（３月７日施設利用許可済）
第２回理事会
日　時　令和９年３月５日（金）午前９時 30 分開会
会　場　笠間市・友部公民館二階小会議室
④令和７年度会計監査
日　時　令和８年４月５日（日）午後３時 00 分～５時 10 分
会　場　古河市･総和地域交流センター１階創作室（中央公民館隣り）
（２月27日施設利用許可済）
⑤専門委員会
(1)総務委員会（３回計画／年）
第１回総務委員会
令和８年６月20日(土) 午前９時30分開会（４月３日施設利用許可済）
第２回総務委員会
令和８年 10 月３日（土）午前９時 30 分開会
第３回総務委員会
令和８年１月 23 日（土）午前９時 30 分開会
会　場　笠間市・友部公民館一階創作室
(2)研修委員会（３回計画／年）
第１回研修委員会
日　時　令和８年５月　　日（　）午後１時 30 分開会
会　場　水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館
第２回研修委員会
日　時　令和８年７月　　日（　）午後１時 30 分開会
会　場　水戸市・茨城大学水戸キャンパス
第３回研修委員会
日　時　令和８年８月　　日（　）午後１時 30 分開会
会　場　笠間市・友部公民館
(3)広報委員会（３回計画／年）
第１回広報委員会・令和８年６月下旬予定
第２回広報委員会・令和８年９月下旬予定
第３回広報委員会・令和９年２月下旬予定
会　場　水戸市･上中妻市民センター1階会議室

令和８年　茨城県スポーツ指導者研修会
全県研修会

令和８年７月 26 日（日）於：茨城大学水戸キャンパス

「プレーヤーズセンタードなコーチング」から考える、これからの指導者の役割

講師　仙台大学 准教授
松井　陽子

《講演Ⅰ》

本研修では、日本スポーツ協会（JSPO）が進める公認スポーツ指導者養成を踏まえ、「プレーヤーズセンタードなコーチング～やる気を引き出すコーチング実践～」をテーマに、これからのコーチに求められる役割について参加者の皆様と考えました。

現在、日本スポーツ協会では、「プレーヤーズセンタード」という考え方を軸に指導者養成を進めています。これは、プレーヤーだけを優先するという意味ではなく、プレーヤーを中心に、指導者、保護者、トレーナーなどスポーツに関わる人々（アントラージュ）が相互に関わりながら、全体の成長とWell-being（より良い状態・幸福）を目指す考え方です（図）。「アントラージュ」とは、プレーヤーを取り巻く指導者、保護者、トレーナー、医療スタッフなど、プレーヤーを支える人々を指します。

スポーツは本来、自ら「やりたい」と思って取り組むものであり、その楽しさが原点にあります。もちろん、勝利や競技力の向上を目指して真剣に取り組むこともスポーツの魅力です。しかし、結果だけを追い求めるあまり、プレーヤーが指導者の指示に従うだけになってしまえば、自ら考え、判断し、行動する力を育てることはできません。本研修では、プレーヤーズセンタードの考え方を踏まえ、プレーヤーの主体性を引き出すコーチングについて、ワークを交えながら考えました。

まず、「プレーヤーズセンタード・セルフチェックリスト」を用いて、参加者自身に現在のコーチングを振り返っていただきました。日頃はプレーヤーの課題に目が向きがちですが、コーチ自身が自らの関わり方を見つめ直し、学び続ける姿勢を持つことの重要性を確認しました。

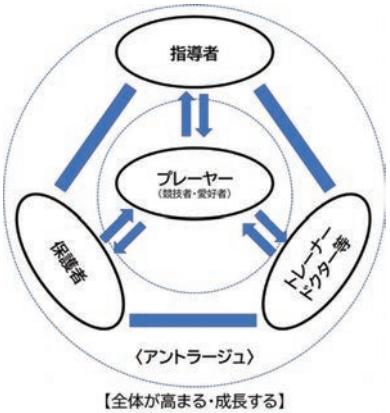
続いて、主体性を引き出すコミュニケーションとして、「指示」「提案」「質問」「委譲」という四つのアプローチを紹介しました。どの方法が常に正しいということではなく、プレーヤーの経験や状況に応じて使い分けることが求められます。中でも質問は、相手の考えや感覚を引き出し、自ら答えを見つけることを支える重要な手段です。

研修では、クローズドクエスチョンとオープンクエスチョンを用いたワークを体験していただきました。質問の仕方によってプレーヤーの思考や気づきは大きく変わります。「答えを教える」のではなく、「答えを引き出す」ことも、コーチに求められる大切な役割です。

研修の中では、「プレーヤーが練習しない」「やりたがらない」という指導者の悩みも多く聞かれました。しかし、本来スポーツは、自ら「やりたい」と思って取り組むものです。無理にやらせることが目的ではありません。一方で、やりたいことだけに取り組んでいては競技力の向上につながらない場面もあります。だからこそコーチには、「この練習をするともっと上手くなれる」「もっと強くなれる」「もっとスポーツが楽しくなる」ということをプレーヤー自身が理解し、納得して取り組めるよう支援することが求められます。そのためには、一方的に答えを与えるのではなく、質問や対話を通してプレーヤーの考えを引き出し、主体的な学びにつなげていくことが重要です。

コーチの役割は、プレーヤーに進むべき道を示すことではなく、「どうなりたいのか」「何を目指したいのか」を理解し、その実現を支えることです。そのためには、観察し、耳を傾け、問いかけることを通して、プレーヤーをより深く理解しようとする姿勢が欠かせません。

プレーヤーズセンタードなコーチングとは、プレーヤーに自由を与えることでも、すべてをコーチが決めることでもありません。プレーヤーが「なぜこの練習が必要なのか」を理解し、自ら考え、主体的に行動できるよう支えることです。本研修が、参加された皆様にとって日々のコーチングを見つめ直し、プレーヤーとともに成長していくきっかけとなれば幸いです。



出典：日本スポーツ協会 HP
https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html

令和８年　茨城県スポーツ指導者研修会
水戸地区研修会

令和８年９月６日（日）於：JAグループ茨城教育センター

「楽しく夢中にさせ、可能性を伸ばす育て方」

《講演Ⅱ》

講師　For C International LLC 代表
小山　佳恵

私は、USLPGAティーチングプロとして、子どもからツアープロまで幅広い層へのゴルフ指導に携わってきました。その経験を通して感じているのは、人は「楽しい」と感じたときに自ら夢中になり、本来持っている力や可能性を大きく伸ばしていくということです。

今回の講演では、「楽しく夢中にさせ、可能性を伸ばす育て方」をテーマに、競技種目を問わず活用できるコミュニケーションとメンタル指導について、参加者の皆さまと一緒に考えました。

まずお伝えしたのは、指導の出発点は「自分を知ること」、そして「相手との違いを知ること」だということです。指導者がよいと思う伝え方が、すべての選手に同じように届くとは限りません。言葉や理論を順序立てて理解する人、映像や動きから全体像をつかむ人、実際に身体を動かすことで理解を深める人など、物事の捉え方や学び方は一人ひとり異なります。

講演では、回るダンサーの映像や簡単な質問を使い、右脳・左脳の傾向や、VAKと呼ばれる視覚・聴覚・体感の学習スタイルを体験していただきました。同じ映像を見ても回転方向が違って見えたり、「海」という言葉から思い浮かべるものが、景色、波の音、砂浜の感触と、それぞれ異なったりします。私たちは同じものを見聞きしていても、受け取り方が違うことを実感していただけたと思います。

選手のタイプを知ることができれば、伝え方の選択肢が増えます。視覚的に理解しやすい選手には動きや映像で、聴覚を重視する選手には言葉やリズムで、体感を大切にする選手には実際の感覚を通して伝える。相手に合わせて言葉や方法を変えることで、理解が深まり、指導者と選手の信頼関係も築きやすくなります。

また、選手の自信を育てるためには、結果や欠点だけを見るのではなく、まず「できていること」を認めることが大切です。私は指導の際、「Good・Better・How」を意識しています。最初に良かった点を伝え、次にもっとよくなる部分を示し、最後に「どうすればできるか」を一緒に考えます。可能性に目を向けた言葉が、選手の次の挑戦への意欲を引き出します。

さらに、笑顔が身体に及ぼす影響を体感する実践も行いました。笑顔、怒った顔、悲しい顔、泣き顔をつくり、それぞれの表情で身体に力を加えて体幹の安定性を比べると、表情によって身体の反応や力の発揮が変わることを実感できます。指導する側、される側がどのような表情でその場にいるかによって、場の空気、いわば波動や気のエネルギーも変わり、心だけでなく身体やパフォーマンスにも影響を与えるのです。

だからこそ、指導者自身が楽しみ、笑顔でいることが大切です。「Joyは伝染する」。指導者の表情や言葉、エネルギーは、想像以上に選手へ伝わります。指導者が挑戦を楽しみ、一人ひとりの可能性を信じる姿勢が、選手の「もっとやってみたい」という気持ちを育てます。

今回、約100名のさまざまな競技の指導者の皆さまが、熱心に耳を傾け、メモを取り、ワークにも楽しく参加してくださいました。競技は違っても、「選手をよりよく育てたい」という指導者の想いには多くの共通点があります。私自身も大きな刺激をいただき、学びの多い貴重な時間となりました。

この講演が、一人ひとりの個性を尊重し、楽しさと笑顔を通して可能性を引き出すためのヒントとなれば幸いです。

ヨッシー小山（小山佳恵）
合同会社For C International 代表
全米女子プロゴルフ協会
A級プロフェッショナル
全米女子プロゴルフ協会
トップ50インストラクター
全米女子プロゴルフ協会
グローバルエデュケーションチーム
2024–25
全米女子プロゴルフ協会 国際部門 会長
2020 米ゴルフダイジェスト
世界のベストティーチャーズ
2018 全米女子プロゴルフ協会
国際部門 ティーチャーオブザイヤー
2016–17&24
全米女子プロゴルフ協会
国際部門 ジュニア指導者オブザイヤー
TPI ゴルフレベル3、ジュニアレベル3資格
ファストファーストゴルフジャパン
ヘッドインストラクター
Facebook
Instagrum
ヨッシー小山のBlog

みんなの広場

ラジオ体操指導者講習会について

県西支部　金子元則

２０２８年ラジオ体操は、百年を迎えます。

「新しい朝がきた、希望の朝だ。」今でもこの歌を耳にすると、小さい頃広場に集まり、楽しく行ったラジオ体操を懐かしく思い出す方もいらっしゃることでしょう。

百年変わらず歌い継がれ、ラジオから流れる音に合わせて体を動かす。外国に類を見ないラジオ体操。「日本の文化」と言われる所以がここにあると思います。

いつでも・どこでも・だれでも」できるラジオ体操は体の仕組みに基づき考案された究極のストレッチです。

昨今、少子高齢化、人口減少、ライフスタイルの多様化など社会環境の変化に伴い、ラジオ体操人口は減少傾向にあるといわれています。その一方で「体の健康」「社会参加」「地域活性化」など多くの面で効果が出ています。

２００５年に「全国ラジオ体操連盟公認指導者資格認定制度」が制定されました。全国ラジオ体操連盟の講師による講習会を受けることで「ラジオ体操指導員」の資格を取得することができます。

指導者を育成するために、かんぽ生命保険加入者協会が講師を派遣してくれる制度です。教員、スポーツ推進委員、スポーツ指導者など、地域で活躍する立場の方を対象に実施されています。

県西支部ではこの制度を活用し、筑西市の協力を得て講習会を開催する運びとなりました。「ラジオ体操第1・第2・みんなの体操」の３種目の実技を2時間程度受講します。

「正しいラジオ体操」を会得することにより、自信をもって指導に充ことが出来ます。

是非、多くの方が受講され、「二級指導士、一級指導士」を目指してくださるようお願いいたします。

日時　令和8年10月25日（日）
　　10時から12時（受付9時30分）
場所　筑西市明野トレーニングセンター
講師　岡本美佳氏
（ＮＨＫテレビ・ラジオ体操指導者）
　　舘野怜奈氏
（ＮＨＫテレビ・ラジオ体操指導者）
参加対象　約70名
参加料　無料
申込締切　令和8年10月21日（水）

（公財）茨城県スポーツ協会加盟競技団体紹介

（一財）茨城陸上競技協会
会長　秋山哲男

一般財団法人茨城陸上競技協会は、昭和10年に茨城陸上競技連盟として発会し、翌昭和11年から本格的に事業運営を開始して以来、茨城県における陸上競技の普及と発展を支えてまいりました。そして２０２６年に創立90周年という大きな節目を迎えました。長きにわたり積み重ねてきた歩みは、多くの関係者のご尽力と、競技者、指導者、審判員の皆様の支えによるものであり、深く感謝申し上げます。

現在、本協会は主催競技会をはじめ、主管競技会を含めて年間１２３に及ぶ競技会の運営に携わっております。県内各地で開催される一つ一つの競技会は、競技力向上の場であると同時に、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、そして地域の活力づくりにもつながる大切な機会です。こうした事業を着実に進めるため、本協会は総務、財務、競技、審判、強化、道路競技、普及、記録情報処理、登録、広報、女性、医事の12委員会を柱として組織運営を行っております。

近年は、部活動の地域展開やスポーツ環境の変化を背景に、陸上界においてもクラブチームの存在感が高まり、ジュニア世代の育成と、それを支える指導者の養成がこれまで以上に重要になっております。そうした中で本協会は、普及活動と強化活動を両輪として、陸上競技の楽しさを広く伝えながら、ジュニア層から将来日本を代表し、世界へ羽ばたく選手の育成に力を尽くしてまいります。

また、競技会運営においては、安全で安心できる環境を整えることを第一に、公平公正な審判業務の徹底が欠かせません。本協会は、競技者が日頃の努力の成果を十分に発揮できる舞台を守るため、審判技術の向上と資質の研さんに引き続き努めてまいります。今後も１００周年に向けて茨城県の陸上競技界を担う総括団体として、競技力の向上と競技環境の充実に取り組み、陸上競技を通じて地域社会に貢献してまいります。皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

Google Workspace（グーグル・ワークスペース）利用者募集について

本協議会では、会員の皆さまとの情報共有と連絡体制の充実を図るため、新たなコミュニケーションツールとして「GoogleWorkspace」を導入することといたしました。

Google Workspaceを利用することで、次のようなことが可能になります。

⑴スムーズな情報配信：研修会や講習会等の案内を、メールやカレンダーで一斉にお届けします。

⑵資料のオンライン共有：各種資料をクラウド上で共有し、いつでもどこでも閲覧・確認できるようになります。

⑶オンライン情報交換：必要に応じて、ビデオ会議ツール（Google Meet）を利用した意見交換や会議が行えます。

⑷高度な機能の利用：大容量ストレージに加え、最新のＡＩアシスタント（Gemini）を業務や指導のサポートに活用できます。

つきましては、本ツールの利用を希望される会員の方を募集いたします。本サービスは企業や学校で広く導入されているシステムであり、通常は1人あたり月額1,600円以上かかりますが、本協議会のこれまでの活動実績が評価され、Google社とNon-profit（非営利団体）契約を結び、独自ドメイン（@isportscc.net）を取得することができました。

そのため、当面の間は会員の皆さまの追加費用負担はございません。（※来年度以降は、今年度の利用状況等を踏まえ、通常の利用代金ではなく「システム管理者費用」として年額数百円程度のご負担をお願いする可能性があることを予めご了承ください）

利用を希望される方は、「申込みフォーム」より必要事項を入力の上、送信してください。

【入力に必要な内容】

お手元に「公認スポーツ指導者登録番号」をご用意いただくとスムーズです。

・公認スポーツ指導者登録番号
・氏名（フリガナ・ローマ字表記含む）
・種目または資格種別（アカウント作成の略号に使用します。例：バレーボール、テニス等）
・所属支部（県北・水戸・中央・県南・県西・鹿行・その他）
・連絡用メールアドレス（初期設定の案内に必須です。携帯メールの場合は「@isportscc.net」からの受信許可設定をお願いします）
・携帯電話番号（セキュリティ保護のための「2段階認証」に必ずご本人の番号が必要です）

【お申し込み後の流れ】

お申し込みいただいた方には、後日、Google Workspaceのアカウント情報（メールアドレス・初期パスワード）と、初回ログイン方法を記載した簡単なマニュアルをメールにてご案内いたします。

【個人情報の取り扱い】

お預かりした個人情報は、本協議会の運営およびGoogle Workspaceを利用した連絡・情報提供の目的以外には一切使用いたしません。

💡ご不明な点がありましたら、下記のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

お問い合わせフォーム

https://forms.gle/iJgg5fyB55QcDzTd6

詳しくはこちら

本協議会事務局便り

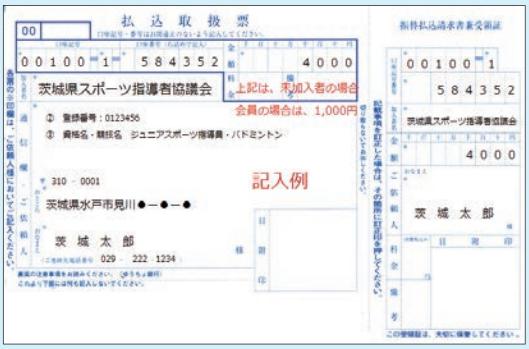
✎本協議会規約第 19 条に基づき下部組織６支部の前年度と今年度の会員人数増減は、下表の通りであります。但し、バスケットボール・サッカー競技は除く

✎６支部市町村別の会員人数（９月１日現在）

市　町　村	令和７年度	令和８年度	増　減
(1) 県北支部（４市）			
常陸太田市	36名	41名	↗５名
日立市	174名	189名	↗15名
高萩市	19名	20名	↗１名
北茨城市	22名	22名	→０名
	計 251名	計 272名	計 ↗21名
(2) 水戸支部１市			
水戸市	247名	274名	↗27名
	計 247名	計 274名	計 ↗27名
(3) 中央支部(11 市町村)			
ひたちなか市	141名	174名	↗33名
笠間市	60名	66名	↗６名
那珂市	53名	55名	↗２名
小美玉市	60名	63名	↗３名
常陸大宮市	36名	39名	↗３名
茨城町	27名	29名	↗２名
大洗町	４名	６名	↗２名
城里町	16名	16名	→０名
大子町	13名	13名	→０名
東海村	59名	65名	↗６名
※水戸市	１名	１名	→０名
	計 470名	計 527名	計 ↗57名
(4) 鹿行支部（５市）			
行方市	31名	38名	↗７名
鹿嶋市	63名	78名	↗15名
神栖市	69名	84名	↗15名
潮来市	18名	23名	↗５名
鉾田市	46名	49名	↗３名
	計 227名	計 272名	計 ↗45名
(5) 県南支部(14 市町村)			
つくば市	206名	257名	↗51名
つくばみらい市	37名	41名	↗４名
牛久市	52名	60名	↗８名
取手市	81名	94名	↗13名
守谷市	57名	66名	↗９名
石岡市	66名	82名	↗16名
土浦市	109名	119名	↗10名
龍ヶ崎市	42名	43名	↗１名
かすみがうら市	34名	32名	↘２名
稲敷市	38名	41名	↗３名
阿見町	40名	41名	↗１名
利根町	12名	10名	↘２名
河内町	５名	５名	→０名
美浦村	９名	11名	↗２名
	計 788名	計 902名	計 ↗114名
(6) 県西支部（10 市町）			
古河市	66名	77名	↗11名
下妻市	35名	42名	↗７名
坂東市	30名	35名	↗５名
常総市	42名	49名	↗７名
桜川市	49名	53名	↗４名
筑西市	89名	105名	↗16名
結城市	38名	49名	↗11名
八千代町	16名	21名	↗５名
境町	13名	18名	↗５名
五霞町	２名	１名	↘１名
	計 380名	計 450名	計 ↗70名
総合計	2363名	2697名	↗334名

※上記の資料通り本協議会に会員人数が、令和７年度より令和８年度は、334 名が増加しました。

郵便局払込取扱票用紙
『研修会参加料振込み用紙（払込取扱票）』見本



皆様のご意見、ご投稿をお待ちしております！

【広報に関する連絡先】
〒 319-1417
茨城県日立市かみあい町 2-20-7
ＴＥＬ　080-8711-6604
メール　kamiai_yone@yahoo.co.jp
茨城県スポーツ指導者協議会
広報委員長　米川　優

編集後記

第93号会報発行にあたり皆様には原稿執筆を賜り心から感謝申し上げます。

これからもご愛読いただける会報になるように努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

次回の会報94号発行は
令和９年３月15日（予定）

広報委員会

広報委員長　米川　優（県北支部）
広報副委員長　加藤木すえ子（水戸支部）
広報担当副会長　渡辺　吉光（県南支部）
広報委員　高松　淑子（県北支部）
岡野　秀一（水戸支部）
舛井　幸子（水戸支部）
黒沢　勝秀（中央支部）
武石　良男（中央支部）
君和田治也（鹿行支部）
高野　照代（鹿行支部）
小林　誠（県南支部）
藤田　道子（県南支部）
野村　正巳（県西支部）
鈴木　美和（県西支部）